

新潟大学・地域共創支援活動 オンライン説明会のご案内

～産学金官が連携した新たな価値創造を目指して～

7/28 (水)・Zoom ウェビナー開催 (主催：新潟大学地域創生推進機構)

- 厳しい経済社会環境において持続的な地域経済の発展や雇用の場の創出を図るには、地域内の多様なステークホルダーが連携し、それぞれの強みを活かしながら共に新たな価値を創造する地域共創活動が求められています。
- 新潟大学地域創生推進機構は、本学の社会貢献の理念・目標に沿って地域連携活動及び産学連携活動を一貫して推進し、地域課題の解決及び産業の発展に寄与することを目的に取り組んでいますが、こうした取組の充実強化を図るため、地域共創活動の中核となる事業者等に対して総合大学として抱える多岐にわたる分野・領域の研究者を紹介するとともに、学術指導や調査・分析等の受託、共同研究、受託研究など一連の支援活動を通じ、地域共創活動が円滑・効果的に展開されるよう努めてまいりたいと考えております。
- つきましては、本学の地域共創支援活動の概要説明と併せ、今後の共創活動の参考としていただくため「日本酒学が拓く新潟の未来～産学金官連携による地域イノベーションエコシステムの形成～」をテーマとしたミニ講義を内容とするオンライン説明会を「別紙」のとおり開催いたしますので、多くの皆様からご参加くださるようお願いいたします。

新潟大学・地域共創支援活動の概要



(別紙)

新潟大学・地域共創支援活動オンライン説明会

(Zoom ウェビナー開催)

1 日 時	令和3年7月28日(水) 13:30~15:00 (13:00 から受付開始)
2 方 法	「Zoom ウェビナー」を使用したオンライン開催
3 主 催	新潟大学地域創生推進機構
4 対 象 者	県内の企業、自治体、金融機関、経済団体、大学等の関係者(定員 500 人)
5 内 容	

(1) 開 会

(2) 主催者あいさつ

新潟大学地域創生推進機構 副機構長(副学長・工学部教授) 阿部 和久

(3) 地域共創支援活動の概要説明(15分)

- ・地域共創支援活動の概要(趣旨、支援メニュー、活動の流れ等)
- ・共創活動の事例紹介

(4) ミニ講義(60分)

○テーマ 「日本酒学が拓く新潟の未来

～産学金官連携による地域イノベーションエコシステムの形成～

○講 師 新潟大学人文社会科学系(経済科学部)准教授 岸 保行

新潟大学日本酒学センター副センター長



<テーマ設定の背景・趣旨>

新潟大学、新潟県及び新潟県酒造組合は、日本酒に係る文化的・科学的な幅広い分野を網羅する学問分野「日本酒学」の構築について、国際的な拠点の形成とその発展に寄与することを目的として、2017年5月に三者で連携協定を締結しました。新潟大学では、この協定に基づき2018年4月に新潟大学日本酒学センターを設置し、総合大学である強みを生かし、広範な研究・教育分野から教員が参加する形で本センターを運営するとともに、学外メンバーとして新潟県、新潟県酒造組合が参加し、三者の力を結集することで、日本酒に係る「教育、研究、情報発信、国際交流」に関する事業を展開しています。日本酒は様々なモノやコトと組み合わせることで魅力を増す新潟を代表する伝統的な文化的製品です。料理や酒器、さらにはツーリズムやイベントなどと組み合わせることで、日本酒の価値が高まります。ミニ講義では、日本酒学センターの取組状況や研究成果などをご紹介させていただくとともに、関係者がそれぞれの強みや地域資源を活かしながら共に新たな価値を創造する地域共創活動を展開し、地域創生につなげていく際の参考事例としてお話しさせていただきます。

(5) 質疑応答(10分)

(6) 閉 会

6 お申し込み方法

- お申し込みサイト <https://forms.gle/81oHxFsqmLsszzNL9> または右記の QR コードからお申し込みください。(ご応募の際の個人情報は、当事業のみに使用いたします。)



お申し込みいただいた方に、メールにて参加 URL 及び関係資料を7月26日(月)までにお送りします。

- お申し込み期限は、**7月23日(金)**です。
○ その他ご不明な点等ありましたら、下記までお問い合わせください。

<本件についてのお問い合わせ先>
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
国立大学法人新潟大学地域創生推進機構
特命教授(社会連携部門長) 戸松 裕
E-mail:tomatsu@ccr.niigata-u.ac.jp
電話:025-262-5323 FAX:025-262-7513